

## 2025年度学校評価

自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人百羊学園 昭島幼稚園

## 1. 本園の特色と教育目標

## ▶キリスト教的な愛に基づく保育の実践

- ・心が育つ保育
- ・個性を認め合う仲間づくり
- ・平和で民主的な生活環境

## ▶総合的な学びの実践

- ・ゆたかな直接体験
- ・個の充実と幅広い体験

## ▶家庭と共に歩む保育の実践

- ・親子登園、お弁当の幼稚園
- ・充実した父母会

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

## ▶「家庭との連携強化」

家庭に保育の現状を伝え関心を高められる機会として、保育参観などの機会を増やすなどオープンエデュケーションの実践に努める。

## 私たちが目指すもの



私たちはキリスト教的愛の精神の下、すべての子どもの人権を尊重し、個性や多様性を受け入れて保育にあたります



私たちは子どもの健やかな成長を願い、その実現に向けた環境や関わりを常に研究・検証し、地域の関係諸機関とも連携して幼児教育のさらなる発展を目指し取り組みます



私たちは子育てにあたる家庭をサポートし、子どもの成長を共に支え、豊かな交し合いを通じて「家族の強い絆」の構築に貢献できるよう努めます



学校法人百羊学園 昭島幼稚園

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目（保育内容の検証）	評価	取り組みの様子
1 保護者会の実施	A	年間8回保護者会を開催し、園の考え方やクラスの歩みなどを家庭と共有する機会を設けられた。
2 保育参観の機会提供	A	保育の様子を直接参観する機会を増やし、園で仲間とどのように生活しているかを家庭にも届けられるように努めた。各クラス年間7~9回程度の参観の機会を提供できた。
3 成長の歩み（保育報告書）の提供	A	学期の終了時毎に園生活で見られた遊びの様子、仲間との関係、頑張ったことなどを「成長の歩み」として書面に記し、家庭に届けた。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し課題を残した D：成果がなかった）

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	園の様子を家庭に伝える事は幼児教育にとっての重要なテーマであることを自覚し、きめ細やかな保護者との関わりや保育の報告に努めた。 園での様子が伝わることで家庭の安心にもつながり、園や園生活への関心も高まったように思う。普段はなかなか園に来ることのできない父親や祖父母の皆様にも「成長の歩み」を読んでもらうことを通して保育を届けることができたと感じている。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し課題を残した D：成果がなかった）

5. 今後取り組むべき課題、次年度への展望（継続）

課題・展望		具体的な取り組みなど
1	よりよい保育の研究、実践	幼児の健やかな成長のためによりよい活動や体験などを提供できるよう、「より良い保育の研究、実践」を目指し保育にあたる教師が向上心をもって仕事にあたる。
2	家庭との連携強化	家庭に保育の現状を伝え関心を高められる機会として、保育参観などの機会を増やすなどオープンエデュケーションの実践に努める。
3	地域社会との連携強化	近隣の商店や施設などとの交流や連携を深め、地域に根差した幼稚園として歩めるよう具体的に取り組む。

6. 学校関係者評価（評価：昭島幼稚園父母会 / 学校法人百羊学園評議員会）

昭島幼稚園は親子で登園する幼稚園なので、毎日先生や他のお母さん方と顔を合わせ会話もでき、親子共に安心して通うことができます。父母会や参観の機会も多いので、子どもの園での様子がよくわかり、クラスメイトのお子さんにも関心が湧きます。

今年度から「成長の歩み」が家庭に届くようになって、子どもが園で出会ったあそびや友達のこと、経験した活動などを詳しく知ることができました。普段幼稚園に行く機会が少ない父親や祖父母にも読んでもらい、皆で子どもをほめてあげることができました。

（昭島幼稚園父母会）

昭島幼稚園がオープンエデュケーションを目指し、家庭や地域と連携して保育を実践していることがよく伝わってきた。大人が作る良い関わりの中でこそ子どもたちは健全に成長していけることを忘れずに、今後も家庭と共に、地域と共に歩む昭島幼稚園であってほしい。

（学校法人百羊学園評議員会）